

平成 30 年度第 4 回古賀市スポーツ推進審議会【環境部会】 会議録  
(要約筆記)

(座長)

- ・平成 30 年度第 4 回古賀市スポーツ推進審議会環境部会を始める。どうぞよろしくお願いいたします。
- ・前回の振り返り及び確認を行った後に、私から環境部会で話し合ったことの報告を行いたい。
- ・議事録と環境部会の協議内容をまとめた資料を作成している。その後、私が意見を追記した資料を作成した。意見をいただきたい。
- ・スポーツ施設の有効利用の現状と課題について、「クロスパルこがアリーナが大会等で使用しづらい」「イベント重複時の市民体育館の駐車場問題」を追記したいと考えている。ご意見をいただきたい。

(委員)

- ・利用しやすい施設の整備にフロアの 1/4 の使用とある。現在 1/2 ずつ貸しているのを細分化するということか。

(座長)

- ・細分化すればそれだけ多くの人を使用できるため、そのような意見が前回出ていた。しかし、使用料については条例で全面と半面で規定しているという課題はある。

(事務局)

- ・1/4 ずつ貸してはどうかという意見は前の審議会が出ていた。

(座長)

- ・クロスパルこがの利用者にそのような意見はないか。

(事務局)

- ・クロスパルこがのアリーナやサブアリーナの受付は指定管理者がしているので直接意見を聞くことはないが、定例会でそのような要望は出ていない。

(座長)

- ・みなさんは「利用しやすい施設の整備」とはどのようなことだと考えるか。

(事務局)

- ・10 年後どのようになっていて欲しいかと考えると、スポーツ施設の予約受付の一元化や利用状況の可視化などがあげられるのではないかと。
- ・スポーツ施設の有効活用について、10 年後どうなっているのかという意見に「クロスパルこがが幅広い利用者に快適な総合的スポーツ施設として多くの市民や団体に利用されている」としている。出た意見や行政側の課題を踏まえたものである。

(委員)

- ・スポーツ施設の利用方法の改善に出た意見として、「予約窓口を一元化し、体育協会が担うべきである」と書かれている。断定的ではないか。

(事務局)

- ・審議の中で出た 1 つの意見として記載している。

(座長)

- ・有効活用については、民間施設の活用と予約窓口の一元化・可視化とする。
- ・地域における運動・スポーツ事業の促進で、スポーツできる環境の充実を追記した。拠点だけでなく、公園でも市民の方が身近でスポーツできる環境が事業の促進になるのではないかと感じたため追記したものである。
- ・それに伴い、10 年後どうなっているのかという意見に「市民が地域で気軽に参加できる環境(場や機会)が充実している」を追記した。
- ・近隣自治体との広域連携の推進について、現状と課題に「県の連携協定により広域利用はできているが、近隣市町での利用ができていない」と追記し、10 年後どうなっているのかについて、「近隣市町とのスポーツ交流が図られている」を追記した。
- ・キーワードと 10 年後の古賀市のスポーツ環境を考えてみた。まとめるときの参考にして欲しい。